

○委員の意見（抜粋）

【緑と花の学習園】

- ・活動を発信する手段（SNS等）があるとよい。
- ・花の名札があるのは勉強になった。プランターの花も名札があるとよい。
- ・活動している人の顔がわかるとよい。
- ・活動を知らなかったが、知ってもらう場が環境フェアだと思った。



【東向島駅前周辺の寺島なすのプランター】

- ・寺島なすなどの江戸野菜が植えられているのはよいと思ったが、反対側のプランターは枯れており、管理している事業者に働きかけた方がよい。
- ・寺島なすをより普及させてほしい。



【向島百花園】

- ・自然を残した庭園となっていてよい。対照的に百樹園はもう少し自然を残してほしい。
- ・季節によって違う景色が見られると思うので、また訪問してみたい。



【東白鬚公園】

- 広大な敷地の公園があることを知れてよかった。
人通りが少なく、イベントがあってもよい。



【たもんじ交流農園】

- 虫と植物の両方が生育できる環境づくりが大切である。
- 企業とコラボして屋上も緑化に活用していければよい。
- 農を楽しむ区民が多くいると感じた。より広い農園が創設されたら、多くの区民が農体験を楽しみ、コミュニティが育まれ、魅力あるまちづくりに発展していくと感じた。



【全体・その他】

- 初めて訪問する場所ばかりだった。区内に魅力的な場所があることを発見した。
- 人の顔が見えるような管理が好ましい。
- 大横川親水公園のように緑と水があるとよい。
- 区民も手をかけられる場所があるとよい。
- 向島地区と本所地区を比較すると、圧倒的に向島地区の方が、緑が多い。

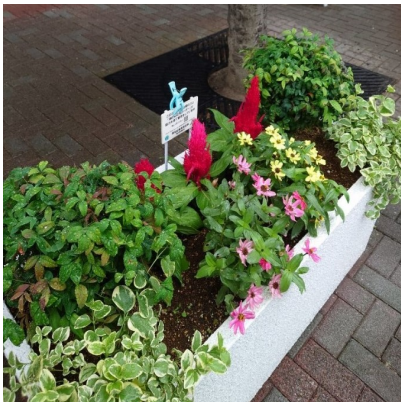


わんぱく天国



業平公園

- まちなか緑化のプランターが目立っていなかったなので、もっとアピールしてもよい。
- 鉢植え等で区民の意識の高さを感じたが、区民に向けて具体的にどう発信していくかが大事だと思った。
- 種のやり取りで周囲との交流ができる。あっという間に広まっていくのが面白い効果。
- 路地園芸が盛んであると、空き巣の減少につながる。
- まちなか緑化については、意識が低い事業者に働きかけることも必要である。



プリメール柳島まちなか緑化



東京スカイツリー周辺のハンギングバスケット



おしなり商店街



十間橋通りまちなか緑化

(まとめ)

今回のフィールドワークで新たに知ったスポットや取組も多く、区民への情報発信の重要性を改めて認識した。すみだ環境フェア等のイベントや SNS の活用などどのように情報発信していくかが課題である。

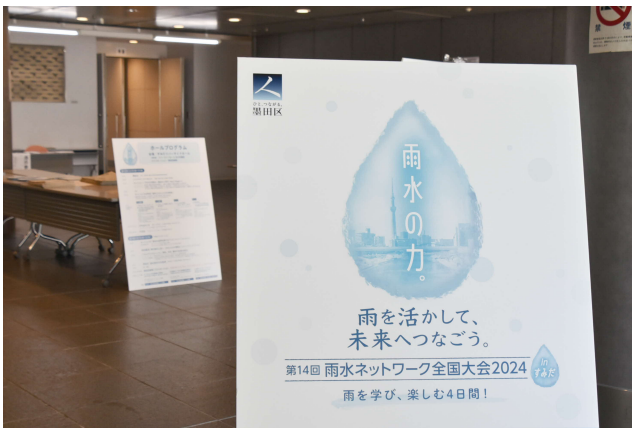
まちなか緑化については、事業者との連携や働きかけを行っていくことが必要である。また、人の顔が見える管理、緑や花を通じたコミュニケーションがあると、緑が豊かになるだけでなく、コミュニティが育まれるなど社会環境を向上させるメリットもあることを認識した。

② 雨水ネットワーク全国大会 2024 への参加

区民会議の委員の多くが、「第 14 回雨水ネットワーク全国大会 2024 in すみだ」に参加した。雨水活用の重要性について再確認するとともに、グリーンインフラなど緑の維持・育成と雨水活用を組み合わせる事例について多く学ぶ機会となった。

特に分科会「雨とネイチャーポジティブ～雨水を活用した都市緑化の可能性」では、「雨樋プランター」、「たもんじ交流農園」「自分でできる雨庭づくり」などの事例が紹介された。

- 開催日 令和6年8月3日（土）及び4日（日）
- 場 所 すみだリバーサイドホール、墨田区役所ほか
- 主 催 雨水ネットワーク全国大会 in すみだ実行委員会、墨田区



① 区公式ウェブサイト上での情報発信

そのファーストステップとして、区公式ウェブサイト内に区民会議のページを作成し、区民会議の活動内容、メンバー構成、活動実績、今期の目標等を掲載した。

「すみだ環境の日（以下「環境の日」という。）」を PR するための取組の一貫として、区公式ウェブサイト内の区民会議のページ上で「すみだエコラム（すみエコ）」の配信を令和 7 年 1 月より開始した。

【令和7年1月5日配信】
冬のリビングでの節電の心得

【令和7年2月5日配信】
「地球環境と緑」・「梅まつり」

更新日：2025年2月5日 ページID：621561388

毎月5日は、すみだ環境の日です。
みなさんによりすみだ環境の日を知ってもらうため、毎月5日に環境に関する具体的な行動を呼びかけています。
その1つの取組として、すみだ環境共創区民会議委員がすみだ環境の日に墨田区の環境やエコに関したコラムを発信しています。

2月号

【すみだ環境共創区民会議】松村委員

出典

お問い合わせ
このページは環境政策課が担当しています。

③ 区民への情報発信の検討

区民への情報発信の内容や方法について検討した。

○検討結果

まず、区民会議とは何なのかを発信する必要があり、SNS 等を活用して区民会議の取組等について情報発信していく。

また、個人、企業、団体等が行う緑に関する取組を取り上げていくと区民の気付きにつながり、取組を行う主体のモチベーションの向上にもつながるため、どのような形で情報発信できるかを含め、検討していく。

また、環境の日について、区民に知ってもらうために、環境に関する情報発信を行うだけでなく、ゴミ拾いなどの具体的な行動を実践することも検討していく。

(まとめ)

区民への情報発信の強化の取組を通して、区民会議やその活動を知ってもらい、区民に環境について関心を持ってもらうきっかけを作ることができた。

情報発信について、環境の日が上手く活用されていない現状があるが、環境の日を活用していくことが有効であり、その内容・方法について議論した。

環境の日を PR する手法の一つとして実施したすみだエココラムの配信では、区公式ウェブサイトや SNS を活用することで、区民会議委員として広く区民に対して環境に関する発信をしていく場を作ることができた。委員が区民に意見や活動を伝えることができるようになり、委員の活動のモチベーションも向上した。

今後、環境の日を活用した情報発信や取組の強化を検討していくとともに、実施の際には、SNS を積極的に活用していく。